

第40回 日本基督教団総会

2016年10月25日(火)~27日(木)

速報

kyodan-sokai sokuho

No.1

2016.10.25 18:30

† 総会速報発行委員会 発行

第40回教団総会開催

「伝道する教団の建設」 —十字架の贖いを土台として— を主題に



第40回教団総会が、10月25日(火)、ホテルメトロポリタンを会場に、開会時正議員400名中366名の出席で開催された。主題は、「伝道する教団の建設」—十字架の贖いを土台として—。

開会礼拝後、議事日程承認の(火)、ホテルメトロポリタンを会場に、開会時正議員400名中366名の出席で開催された。主題は、「伝道する教団の建設」—十字架の贖いを土台として—。際、雲然俊美書記が吉田慈教師(林間つきみ野)の不当逮捕に抗議し釈放を求める議長声明を総会期間内に出すことを述べた。石橋秀雄議長が、北村慈郎教師の免職撤回を求める2議案について、戒規は教師委員会の専権事項であり上程することは出来ないとして述べ、教憲9条の改正を求める議案については、教憲12条が定める3ヶ月前の公示が出来なかったために上程することは出来ないとして述べた。議場から、教憲12条の公表とは何なのか確定してほしいとの要望の他、本議案全文と謝罪を新報に掲載してほしいとの意見があり、石橋議長は同意した。

議長報告で、石橋議長が、伝道する教団を建設、信仰の一致に基づく伝道協力、世界伝道、高齢者伝道、青年伝道、東日本大震災被災者・被災教会支援、熊本・大分被災教会支援、教師養成制度検討委員会、改訂宣教基礎理論草案、宗教改革500周年記念事業、「戦後70年にあたって平和を求める祈り」、沖縄教区のこと等を報告した。質疑応答で石橋議長は質問に対して適宜応答した。「公同教会」との表現について、合同しつつある教団で一つの伝統を押し付けるような在り方に対する疑義が述べられ、議長は、教団を「合同した公同教会と考えている」が「克服されていない課題があることは受けとめていく」と述べた。「教団の組織をどのように改革するのか」との問いには、「教団の委員会を再編成しスリム化を考えたうえでならない」と述べた。改訂宣教基礎理論について、「現行基礎理論

論に基づき歩んでいる教区の歩みをどう考え、総括したのか」との問いに対しては、「現行基礎理論を否定しているわけではない。信仰についての議論が起こって行けばと思っている」と述べた。東日本大震災について、「救援対策本部が閉じられる中、放射能汚染に対する課題に対して、どこで向かい合っていくのか」との問いに対して、「救援対策本部で、どう向き合っていくかを協議している」と述べた。「教憲・教規についての議論も取り扱うべき」との意見に対して、信仰の一致に基づく伝道の大切さを述べた。沖縄教区について、「心が痛みます」と書いていることの趣旨が問われ、議長は、「教団に戻って来てもらい、話を聞き続ける中で克服の道を探って行きたい」と述べた。報告は承認された。

第40回日本基督教団総会開催にあたり開会礼拝がさげられた。川島直道牧師(錦ヶ丘教会)が「全能の神を信ず」(創世記18章9~14節、マルコ福音書10章23~27節)と題して説教した。以下要約。

開会礼拝

『全能の神を信ず』

川島直道牧師(錦ヶ丘教会)による説教

第40回日本基督教団総会開催にあたり開会礼拝がさげられた。川島直道牧師(錦ヶ丘教会)が「全能の神を信ず」(創世記18章9~14節、マルコ福音書10章23~27節)と題して説教した。以下要約。

私たちがこの世の目で救いははかろうとしてしまつ。日々の牧会においても、目に見える現実で救いははかろうと、訓練や逆境のような信仰に立ち返つてほしいという中で教会から離れることにはしばしば直面する。人生における逆境や、病気や災害は神のこうしめだろうか。その時にこそ、私たちは短絡的に救いを考えず、更に深いところで、神の救いがあ

からが、いよいよ勝負の時なのである。震災を経験する中で、私たちは人間の限界を知らされている。しかし、人間の救いは全て可能性を失ったところから始まる。それは、聖書が一貫して示していることである。私たちは限界、絶望、弱さの中こそ、神の全能の御業を見る。何より、主イエス・キリストは十字架の死に身を置かれ、神から見捨てられるという最大の絶望の中から、救いを始めてくださった。主は絶望を貫かれ、甦りの命を見せられる。私たち教会はこのキリストの御体として、絶望からまことの命へと突き抜けているのである。

総会速報について

「総会速報」を発行いたします。今回は4号までの予定です。なお、この「総会速報」は正式の議事録ではありません。拙速ゆえの間違いなどがありましたら、ご容赦ください。また、この速報はインターネットでもご覧になれます。

URL www.uccj.org